

ブロックチェーン技術による留学生を中心としたエシカル・アクティビティ証明
に関する戦略策定（新規）

令和3年4月

（一財）機械システム振興協会

委託先：（一社）コンピュータソフトウェア協会

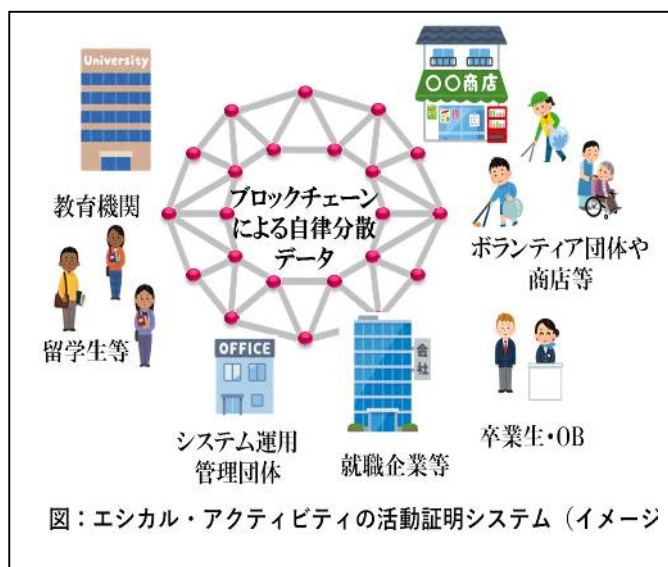
【事業の目的】

ブロックチェーン技術は、仮想通貨ばかりでなく非金融分野での利用も期待されていますが、未だ本格的な普及には至っておりません。

今回の戦略策定事業は、日本に滞在する外国人留学生がエシカル・アクティビティ（すなわち善き行い）を行ったことを、ブロックチェーン技術をベースにしたある種の「証明システム」により社会的に証明できないか、というアイデアの実現性について検討を行うものです。

この「証明システム」は、留学生、教育機関、商店街、就職先など多様な関係者を参加させつつ、記録されたデータの改ざん防止が必要なため、ブロックチェーン技術への期待が高いと考えられます。

本プロジェクトでは、「証明システム」の要件を明らかにするとともに、社会への導入に関する戦略を策定します。



【事業の概要】

①対象とする技術

ブロックチェーン技術を用いて、記録の改ざん防止、プライバシー保護などのセキュリティ対策を講じつつ、多様な関係者が簡単に使えることなどのニーズに適合するための情報システムの要件を明確化します。

②主な参加者

学識経験者、教育機関、IT企業、地域経済団体などが参加します。

③実施の概要とポイント

- ・システムを模擬したモックアップを作成して、多様な関係者が使った時のユーザビリティに関するニーズをヒアリングします。
- ・セキュリティ対策などリーガル面での配慮事項を論点整理します。
- ・本プロジェクトに参加するネクストウェア社が、コンピュータソフトウェア協会と連携しつつ、令和4年度に情報システムを開発し、令和5年度にエール学園や地域社会にサービス提供することを検討しています。